

21 第 35 回東郷町文化産業まつり

- 【日 時】 平成 29 年 11 月 12 日（日）
【場 所】 愛知県愛知郡東郷町「イーストプラザいこまい館」
【内 容】 以下のとおり

愛知中部水道企業団管内で行われる産業まつりの一つとして、「第 35 回東郷町文化産業まつり」に今年も愛知中部水道企業団と共同ブースで出店しました。

天候にも恵まれ、15,000 人（主催者発表）もの多くのお客様が来場され、会場内は賑わいを見せていました。

木曾広域連合では箸づくり体験のほか、観光パンフレットによる観光案内を行いました。

また今回は地元木曾青峰高校も同じ部屋で出展を行い、生徒が製作した木工製品の販売、農産物（カボチャ、ズイキ）の販売を行いました。

また、昨年に引き続き、地元事業者の「どぶろくの郷 工房晴嵐」の澤口様に出店のご協力をいただき、どぶろくの販売を行っていただきました。

箸づくりでは場所が奥だったことで、お客様の目に触れる機会が少なかったこともあってか、体験者数は 19 名（午前 12 名、午後 7 名）とその他のイベントと比べて思ったよりも集客が伸びませんでした。お客様は少なかったですが、箸づくりを通して地元住民との一定の交流が図れたのではないかと思います。

木曾青峰高校は生徒が製作した木工製品や農産物の販売を行いました。箸づくり体験と同じ場所での出展だった為、売れ行きは思ったほど伸びなかったようでした。

どぶろく販売では固定のファンがいらっしやり、リピーターの方に今年もお買い上げいただくことが出来ました。

また、姉妹都市提携を結んでいる王滝村役場もブース出展をしており、すんきなどの地元特産品の販売や観光パンフレットを使っの PR を行っていました。

愛知中部水道企業団ブースでは、「水の旅コロコロゲーム」の他、水道事業に関するアンケートを実施していました。1 円で参加できるという事もあり、多くのお客様で賑わいを見せていました。

今年は新たに木曾青峰高校も出展を行いましたが、出展場所が来場者の目に付きづらい場所になっており、売り上げは今一つという感じでした。来年度以降出展の希望があれば、他のイベントに振り替えるなどの対応が必要かと感じました。

◎ 当日の様子



木曽広域連合ブース（箸づくり体験①）



木曽広域連合ブース（箸づくり体験②）



愛知中部水道企業団ブース
（水の旅コロコロゲーム）



木曽青峰高校ブース
（木工製品、農産物の販売）